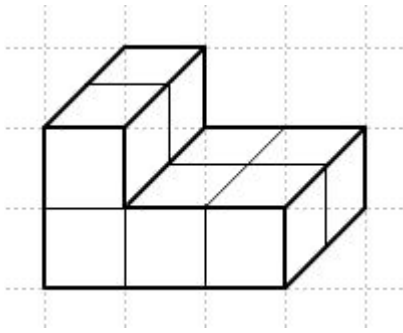


わかりやすく図に表そう

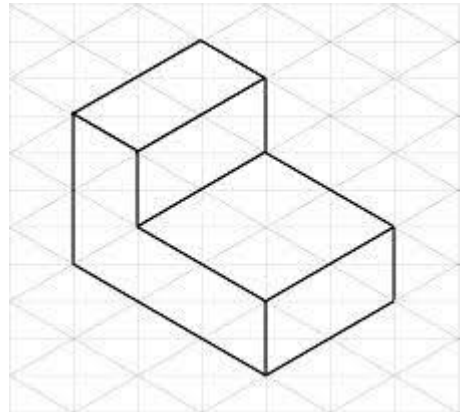
組 番 氏名

- キャビネット図、等角図



() 図

奥行きの長さを()にする



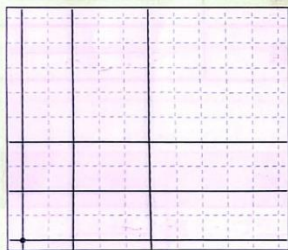
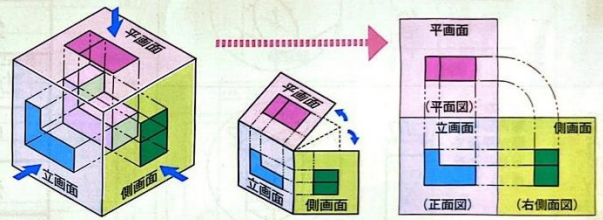
() 図

線の長さの割合を変えなくてよい

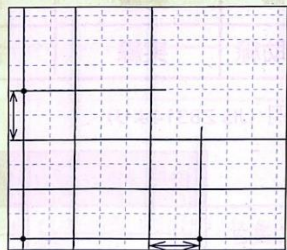
- () による正投影図

第三角法による正投影図 せいとうえいず QR

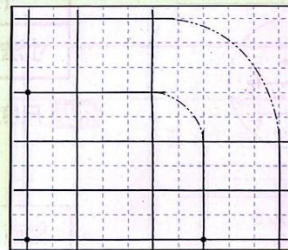
立体の手前に透明な三つの図面を置き、立体をそれぞれの面に投影する。これを展開して配置した図を第三角法による正投影図という。



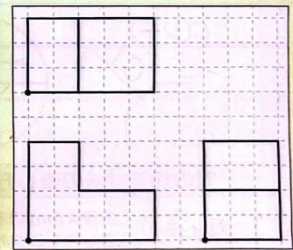
① 正面図の基準となる点を決めて、水平線と垂直線をかく。正面とする面を決めて、その形を表す下がり線をかく。



② 正面の外形線より適度な距離を取って、右側面図と平面図の基準となる点を定める。それぞれの基準点を通る水平線、垂直線をかく。



③ 右側面図と平面図のそれぞれに、その形を表す下がり線をかく。



④ 不要な線を消し、外形線をはっきりとかく。

